



「アウトドア・アクティビティ拠点施設」が いよいよ来年オープン予定！

オープンに先駆けて、留萌で出来る
アウトドアアクティビティを紹介していきます！



今月のインタビュー

オロロンライン・サイクルルート連絡会議
るもいアウトドア観光ネットワーク会議

すみ たに けん じ
炭谷 憲治さん

プロフィール

出身地／小平町

略歴：オロロンライン・サイクルルート
連絡会議、るもいアウトドア観光
ネットワーク会議の設立時に加入。

サイクリングを始めたきっかけを教えてください。

2014年にトライアスロン大会に出場するために始めました。

少しブランクがありましたが、2022年にオロロンラインサイクルルート連絡会議が設立されて、留萌管内8市町村を結ぶ全長140キロのオロロンラインが北海道サイクルルートの9番目に選ばれたことから協力したいと思い、再び乗るようになりました。

北海道サイクルルート連携協議会アドバイザー会議にも参加しています。

この会議体は、学識経験者や専門家の意見をいただきながら、道内各ルートがサイクリストにとって快適なものにするための検証をしています。

オロロンライン・サイクルルートの魅力は どんなところにありますか。

これまでに3回試走会がありました。2023年は留萌市から羽幌町まで、2024年は羽幌町から天塩町まで、留萌市から苫前町まで走りました。

海沿いを走るサイクルルートはあまりないため、海の香りや景観が魅力だと思います。一緒に走った留萌管外の方からは「夏の天気の良い時期は、ハワイの海際を走っているような感覚がすごくしますね。」と言われて、他の地域から来た人が走った時の感覚は全然違うことがわかり、可能性を感じました。

テストイベント
ガイドで
したい



◀オロロンライン・サイクルルートを走る炭谷憲治さん（左）

サイクリングガイドの資格取得についてお聞かせください。

オロロンラインがサイクルルート認定されたので、その魅力を少しでも伝えられるお手伝いが出来ればと思い、2024年にJCGA（日本サイクルツーリズム推進協会）というイギリスでもガイドができる資格を豊富町で取得しました。また、事故などが起きた場合に応急処置を施せるように、上級救急講習を受講し修了しました。

留萌川の河川敷を通過して留萌ダムまで行く地域ルートもありますので、私と経験者の方で初級者の方を挟んで走るテストイベントをしたいと思います。

サイクリング愛好者を増やすために必要なことは何でしょうか。

今は電動バイクもありますので、初心者でも簡単に乗れます。昔と比べて自転車に乗る子どもたちが減っていますので、いかに次世代にバトンをつないでいくかが大切だと思います。留萌に愛好者が増えると、他地域の愛好者を呼びやすくなります。

アウトドア・アクティビティ拠点施設に何を期待しますか。

るもいアウトドア観光ネットワーク会議が、留萌のアウトドアを牽引していかなければならないと思います。そこにモンベルから力を貸してもらえれば、より良くなるのかなと思います。

モンベルアウトドアヴィレッジについては、
留萌市ホームページよりご覧ください。

留萌市
ホームページ
のQR▶



レンタサイクルのご案内

自転車で留萌市内の観光スポットめぐりをしませんか？電動アシスト自転車は道の駅るもいで貸し出し中です。

貸出期間／4月26日～10月26日 ※冬季貸し出し休止

自転車／2時間まで 500円
※延長1時間つきに100円

1泊2日プラン 2,000円

2泊3日プラン 3,000円

電動アシスト自転車／
1時間ごと 1,000円

※自転車、電動アシスト自転車は
それぞれ4台まで



受付・お問い合わせは観光コンシェルジュデスクまで Tel. 43-1501